

令和 6 年 度
学校法人戸早学園 財務諸表等

- ・ 資 金 収 支 計 算 書
- ・ 事業活動収支計算書
- ・ 貸 借 対 照 表
- ・ 財 産 目 録

- ・ 事 業 報 告 書
（ 監査報告書 ）

令和6年度 資金収支計算書

千円

科目名	決算額
学生生徒等納付金収入	411,198
寄付金補助金収入	235,251
その他の収入	1,210,040
資金収入調整勘定	△ 182,142
前年度繰越支払資金	491,709
資金収入の部 計	2,166,056
人件費経費支出	706,886
その他の支出	1,120,746
資金支出調整勘定	△ 14,051
翌年度繰越支払資金	352,475
資金支出の部 計	2,166,056

* 会計監査について

当学園は矢野真紀公認会計士・税理士事務所に委託し、学校法人会計基準に準拠した会計処理を行い、会計年度の経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める監査報告書を受理している。

令和6年度 事業活動収支計算書

千円

科目名			決算額
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金収入	411,198
		寄付金補助金収入	234,566
		その他の収入	73,033
		教育活動収入 計	718,797
	事業活動支出の部	人件費経費支出	776,891
		その他の支出	0
		教育活動支出 計	776,891
教育活動収支差額		△ 58,094	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	227
		その他の教育活動外収入	2,000
		教育活動外収入 計	2,227
	事業活動支出の部	借入金等利息	1,802
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出 計	1,802
	教育活動外収支差額		425
経常収支差額		△ 57,669	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	706
		特別収入 計	706
	事業活動支出の部	資産処分差額	28
		その他の特別支出	0
		特別支出 計	28
	特別収支差額		678
〔 予備費 〕			
基本金組入前当年度収支差額		△ 56,990	
基本金組入額合計		△ 68,238	
当年度収支差額		△ 125,228	
前年度繰越収支差額		△ 1,851,652	
基本金取崩額		1,985	
翌年度繰越収支差額		△ 1,974,895	

(参考)

事業活動収入 計	721,730
事業活動支出 計	778,721

* 会計監査について

当学園は矢野真紀公認会計士・税理士事務所に委託し、学校法人会計基準に準拠した会計処理を行い、会計年度の経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める監査報告書を受理している。

令和6年度 貸借対照表

千円

資産の部	
科目名	決算額
固定資産	1,157,058
流動資産	394,476
資産の部 合計	1,551,534
負債の部	
科目名	決算額
固定負債	280,352
流動負債	249,478
負債の部 合計	529,830
純資産の部	
科目名	決算額
基本金	2,996,599
第1号基本金	2,996,599
繰越収支差額	△ 1,974,895
翌年度繰越収支差額	△ 1,974,895
純資産の部 合計	1,021,704
負債及び純資産の部 合計	1,551,534

* 会計監査について

当学園は矢野真紀公認会計士・税理士事務所に委託し、学校法人会計基準に準拠した会計処理を行い、会計年度の経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める監査報告書を受理している。

令和6年度 財産目録

千円

科目名	決算額
資産額	
基本財産	1,104,411
運用財産	420,681
収益事業用財産	26,442
資産額 合計	1,551,534
科目名	決算額
負債額	
固定負債	290,352
流動負債	249,478
負債額 合計	529,830
正味財産	1,021,704

令和6年度 事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

学校法人戸早学園

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 30 日

学校法人戸早学園
理 事 会 御中
評議員会 御中

学校法人 戸早学園

監 事 森 田 義 孝

監 事 藤 田 信 治

私たちは、学校法人戸早学園の監事として、旧私立学校法（令和 5 年 5 月 8 日施行）第 37 条第 3 項及び学校法人戸早学園旧寄附行為（令和 4 年 2 月 4 日施行）第 17 条第 1 項の規定に基づいて同学校法人の令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細表）を含め、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行いました。

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人戸早学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは旧寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

1 法人の概要

I 法人設立理念

本学園は教育を通じ、人格の陶冶、正しい使命感の体得、教育的愛情を培い、真に有能な人材の育成を行うことを目的とする。

1. 教育理念（全学共通）

- (1) 人類普遍の真理を探究する姿勢の確立
- (2) 個の尊厳、基本的人権擁護の理解と心豊かな人間性の涵養
- (3) 専門的援助に必要な知識・技術の修得

2. モットー

「人が好き」 「人を支える心を学ぶ」

3. 教育方針

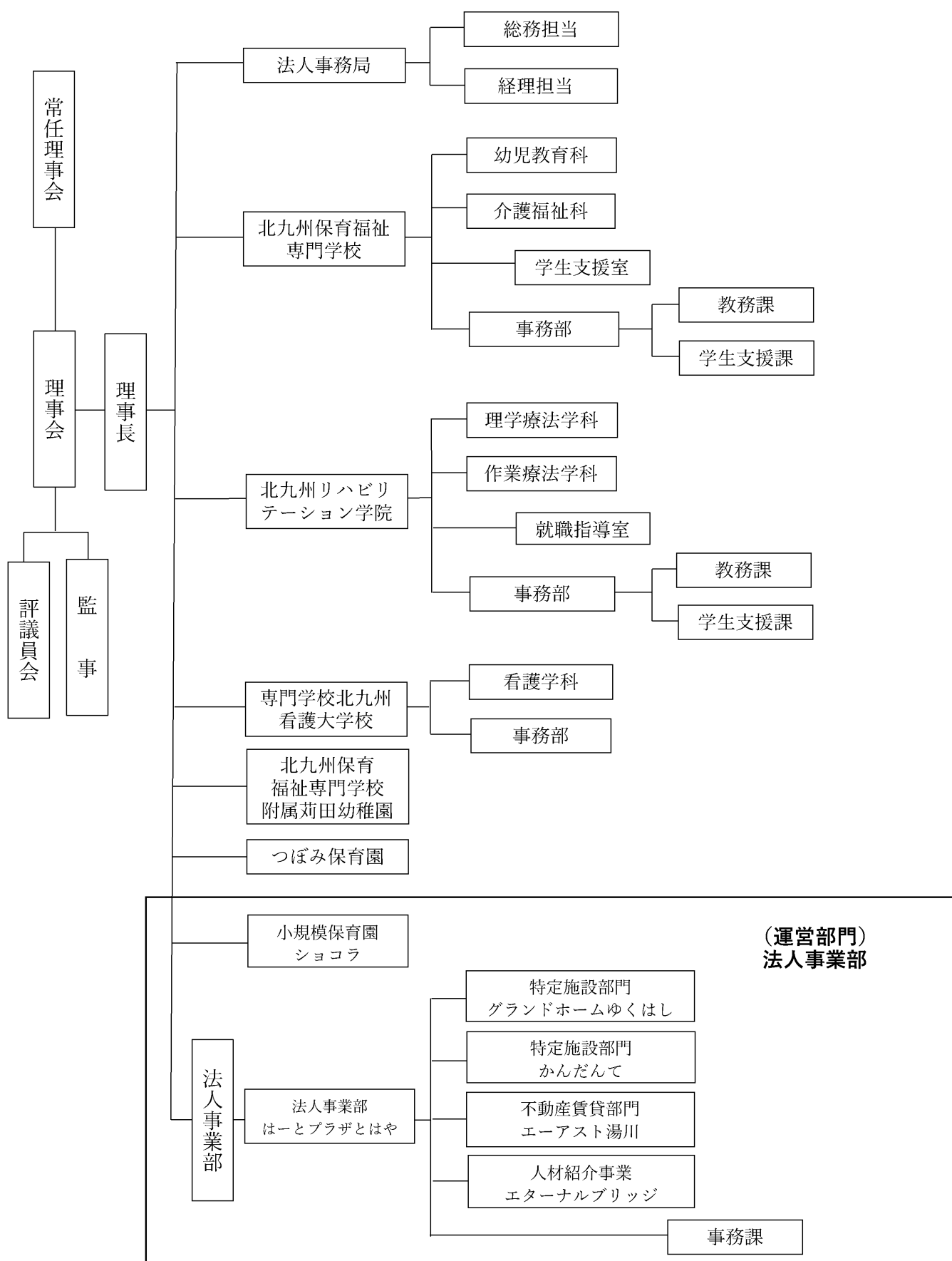
人を思いやる豊かな心を持った保育・福祉・医療のプロフェッショナルの育成

II 学校法人の沿革

昭和30年	4月	小倉市菜園場に私塾「小倉育英学館」を開設
昭和38年	4月	小倉育英学館を小倉区金田に移転
昭和39年		荻田町上片島に校地を取得
昭和40年	8月	学校法人戸早学園法人設立 初代理事長戸早孝太就任
昭和42年	4月	小倉南区湯川にいくえい幼稚園開園
昭和44年	4月	荻田町上片島に北九州幼児教員養成所開校 同附属荻田幼稚園開園
昭和45年	1月	厚生大臣より保母を養成する学校として指定
昭和51年	6月	専修学校（教育専門課程）の認可
昭和53年	12月	初代理事長戸早孝太逝去により二代理事長戸早康晴就任
昭和54年	4月	大分県中津市島田に中津育英学館開校 文部大臣より教員養成の無期限指定 第一若草寮竣工
	8月	校名を北九州保育専門学校に変更
昭和59年	3月	中津育英学館を譲渡
平成1年	3月	小倉育英学館廃止
平成2年	4月	介護福祉科（2年課程 1学年定員40名）設置
平成4年	4月	校名を北九州保育福祉専門学校に変更
平成9年	4月	介護福祉科40名定員を80名定員に変更 介護福祉専攻科（1年課程 定員40名）設置
平成11年	2月	二代理事長戸早康晴逝去により三代理事長戸早秀暢就任
平成11年	3月	附属荻田幼稚園新園舎落成 いくえい幼稚園閉園

平成15年	4月	苅田町上片島に北九州リハビリテーション学院（3年課程 理学療法学科・作業療法学科1学年定員40名）を開校
平成17年	7月	行橋市西宮市2丁目に総合福祉施設「はーとプラザとはや」開設
平成18年	6月	第二若草寮竣工
平成19年	4月	北九州保育福祉専門学校介護福祉科80名定員を40名定員に変更
平成20年	7月	小倉南区いくえい幼稚園跡地に賃貸アパート「エーアスト湯川」オープン
平成23年	4月	小倉南区国立小倉医療センター敷地内に専門学校北九州看護大学校（3年課程 看護学科 1学年定員40名）開校
平成26年	3月	北九州保育福祉専門学校介護福祉専攻科廃止
平成27年	2月	北九州保育福祉専門学校 幼児教育科・介護福祉科及び北九州リハビリテーション学院 理学療法学科・作業療法学科 文部科学大臣より職業実践専門課程認可
平成28年	2月	専門学校北九州看護大学校 看護学科文部科学大臣より職業実践専門課程認可
平成29年	4月	苅田町与原に苅田町公募の介護付有料老人ホーム「かんだんて」開設
平成30年	4月	北九州保育福祉専門学校介護福祉科の募集停止 内閣府による企業主導型保育事業申請
平成31年	4月	北九州保育福祉専門学校幼児教育科100名定員を50名定員に変更
令和 1年	6月	苅田町与原に企業主導型保育事業「つぼみ保育園」開園
令和 3年	3月	小規模保育園「ショコラ」許認可 北九州リハビリテーション学院作業療法学科1学年定員を30名に変更
令和 3年	4月	小規模保育園「ショコラ」開園
令和 4年	3月	法人事業部（かんだんて）において特定技能（介護）外国人労働者採用
令和 4年	4月	附属苅田幼稚園 満3歳児保育および2歳児保育開始
令和 4年	7月	「EternalBridge（エターナルブリッジ）」 有料職業紹介事業許認可
令和 4年	8月	「EternalBridge（エターナルブリッジ）」 登録支援機関許認可
令和 6年	3月	総合福祉施設「はーとプラザとはや」内 子育てサポートセンター「Chi's（チーズ）」閉所
令和 6年10月		北九州保育福祉専門学校介護福祉科募集再開活動説明会を開催

Ⅲ 組織・付属機関等の組織図



IV 所 在 地

学校法人 戸早学園

〒800-0343

福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5

TEL 0930-24-6636 FAX 0930-24-8045

北九州保育福祉専門学校

〒800-0343

福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5

TEL 0930-23-3213 FAX 0930-24-8045

北九州リハビリテーション学院

〒800-0343

福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5

TEL 0930-23-3653 FAX 0930-23-3370

北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園

〒800-0343

福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5

TEL 0930-23-3348 FAX 0930-23-3295

専門学校 北九州看護大学校

〒802-0803

福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘 1 0 番 1 5 号

TEL 093-932-0123 FAX 093-932-3388

つぼみ保育園

〒800-0323

福岡県京都郡苅田町大字与原 1 1 5 6 番地

TEL 0930-24-0226 FAX 0930-24-0227

総合福祉施設 はーとプラザ・とはや

小規模保育園 ショコラ

〒824-0031

福岡県行橋市西宮市 2 丁目 2 番 3 5 号

TEL 0930-26-2610 FAX 0930-26-2611

エーアスト湯川

〒800-0256

福岡県北九州市小倉南区湯川新町 4 丁目 7 番 1 号

介護付有料老人ホーム かんだんて

人材紹介事業 エターナルブリッジ

〒800-0323

福岡県京都郡苅田町大字与原 2 0 番 2 号

TEL 0930-24-1088 FAX 0930-24-1880

V 設置する学校・学科等の入学定員・学生数の状況等

学校法人戸早学園

〔1. 北九州保育福祉専門学校〕

	学 科 名	入学定員	総定員
定員	幼 児 教 育 科	50名	100名
	介 護 福 祉 科	H30より募集停止	－
	合 計	50名	100名

	学 科 名	1学年	2 学年	合 計
学生数	幼 児 教 育 科	36名 (40名)	26名 (32名)	62名 (72名)
	介 護 福 祉 科	0名 (0名)	0名 (0名)	0名 (0名)
	合 計	36名 (40名)	26名 (32名)	62名 (72名)

〔2. 北九州リハビリテーション学院〕

	学 科 名	入学定員	総定員
定員	理 学 療 法 学 科	40名	120名
	作 業 療 法 学 科	30名	90名
	合 計	70名	210名

	学 科 名	1 学年	2 学年	3 学年	合 計
学生数	理 学 療 法 学 科	18名 (18名)	20名 (15名)	26名 (14名)	64名 (47名)
	作 業 療 法 学 科	17名 (4名)	20名 (13名)	12名 (19名)	49名 (36名)
	合 計	35名 (22名)	40名 (28名)	38名 (33名)	113名 (83名)

〔3. 専門学校 北九州看護大学校〕

	学 科 名	1 学年	2 学年	3 学年	合 計
定員	看護学科	40名	40名	40名	120名
学生数		39名 (40名)	39名 (32名)	38名 (36名)	116名 (108名)

〔4. 北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園〕

		定員	園児数	差異
園児数	2 歳		24名 (16名)	△ 8名
	満 3 歳	20名	4名 (0名)	△ 4名
	3 歳	90名	75名 (87名)	＋ 12名
	4 歳	90名	98名 (81名)	△ 17名
	5 歳	90名	72名 (95名)	＋ 23名
	合 計	290名	273名 (279名)	＋ 6名

※ R4.4より定員変更（満3歳児および2歳児保育開始）

〔5. つばみ保育園〕

		定員	園児数	差異
園児数	0 歳	6名	4名 (6名)	＋ 2名
	1 歳	27名	23名 (23名)	± 0名
	2 歳	27名	22名 (21名)	△ 1名
	合 計	60名	49名 (50名)	＋ 1名

〔6. 小規模保育園 ショコラ〕

		定員	園児数	差異
園児数	0 歳	6名	3名 (2名)	△ 1名
	1 歳	6名	8名 (10名)	＋ 2名
	2 歳	7名	9名 (7名)	△ 2名
	合 計	19名	20名 (19名)	△ 1名

※ R6.4より定員変更（0歳4名、1歳7名、2歳8名 計19名）

- * 学校部門〔1～4〕の学生数・園児数は学校基本調査(令和6年, 令和7年5月1日)より作成
- * つばみ保育園〔5〕、小規模保育園ショコラ〔6〕の園児数は令和6年, 令和7年5月1日の人数
- * 学生数・園児数のカッコ内は令和7年度的人数

Ⅵ 役員及び教職員の概要

(1) 理事

理 事 長	戸早秀暢	法人事務局 事務局長	苅田町社会福祉協議会 理事
		専門学校北九州看護大学校 学校長	一般社団法人職業教育キャリア教育財団 監事
		つぼみ保育園 園長	
常任理事	中村邦光	法人事業部 部長	※令和 6 年 7 月 31 日付で退任
常任理事	柴田康弘	北九州保育専門学校 校長	
常任理事	長谷川隆則	附属苅田幼稚園 園長	※令和 6 年 8 月 1 日付で就任
理 事	福田玄祥		弁護士 福田・金弘法律事務所
理 事	和田英気		(株)ニシコン 取締役副社長
理 事	朔 晴久		医師 小倉到津病院 理事長兼院長
監 事	上村篤弘		上村紙業(株)代表取締役
			※令和 6 年 7 月 31 日付で退任
監 事	森田義孝		行橋商工会議所専務理事
監 事	藤田信治		元苅田幼稚園園長 (元常任理事)
			※令和 6 年 8 月 1 日付で就任

(2) 評議員

第 1 号	戸 早 秀 暢	専門学校北九州看護大学校 学校長
〃	中 村 邦 光	法人事業部部長 ※令和 6 年 7 月 31 日付で退任
〃	柴 田 康 弘	北九州保育福祉専門学校 校長
〃	長 谷 川 隆 則	附属苅田幼稚園 園長 ※令和 6 年 8 月 1 日付で就任
〃	野 稻 吉 継	北九州保育福祉専門学校 事務長
〃	辻 和 明	北九州リハ学院 学院長 ※令和 6 年 7 月 31 日付で退任
第 2 号	牧 野 洋	(有) ベスト保険 代表取締役
〃	久 篠 守 生	久篠司法書士事務所 所長
〃	佐 藤 弘 樹	法人事業部次長 かんだんて施設長
〃	湊 村 明 彦	附属苅田幼稚園 副園長
〃	長 城 晃 一	(株) サンウェルズ 職員
第 3 号	坂 本 東 次 郎	(有) 坂本不動産 代表取締役
〃	朔 晴 久	医師 小倉到津病院 理事長兼院長
〃	和 田 英 気	(株) ニシコン 取締役副社長
〃	稲 富 武 志	大原病院 副院長
〃	和 田 昭 雄	元戸早学園職員 ※令和 6 年 7 月 31 日付で退任

注) 第 1 号 … 法人職員のうち理事会で推薦され評議員会で選任されたもの 5 名
(寄付行為第 25 条第 1 項第 1 号)

第 2 号 … 法人設置の学校を卒業したもののうち 25 歳以上で理事会で選任されたもの 5 名
(寄付行為第 25 条第 1 項第 2 号)

第 3 号 … 学識経験者のうちから理事会において選任されたもの 5 名
(寄付行為第 25 条第 1 項第 3 号)

労 務 構 成 表

		正規職員	嘱託職員	パート職員	非常勤講師	合 計
法人事務局	職 員	4	5	1	0	10
北九州保育福祉 専門学校	教 員	3	6	1	22	32
	職 員	3	2	2	0	7
北九州リハビリ テーション学院	教 員	12	1	0	26	39
	職 員	2	1	3	0	6
専門学校 北九州看護大学校	教 員	9	1	1	63	74
	職 員	2	0	2	0	4
苅田幼稚園	教 員	16	1	23	0	40
	職 員	0	5	1	0	6
つばみ保育園	職 員	13	0	11	0	24
法人事業部 (はーとプラザ・とはや)	職 員	33	1	6	0	40
法人事業部 (かんだんて) (エターナルブリッジ)	職 員	26	1	8	0	35
小規模保育園 ショコラ	職 員	8	0	1	0	9
合計	教 員	40	9	25	111	185
	職 員	91	15	35	0	141
	計	131	24	60	111	326

R7. 5. 1現在

I 令和6年度主な事業活動（総括および年間行事）

1. 北九州保育福祉専門学校

[総括]

学生の保育者としての資質能力の育成及び保育の実践力の養成に関しては、引き続き顕著な成果を上げていると総括できる。入学してきた学生を2年間という短期間において現場で通用する保育者に育てるため、本校の教員、事務職員は一丸となって、全力で学生をサポートしており、他校の追従を許さない程きめ細かい指導を行っている。

その成果は、学生の授業評価にも表れており、8割以上の学生が、本校の授業を受けて良かったと「授業に関する学生アンケート」に答えている。また、近隣の保育園、幼稚園からも高い評価を得ており、就職率は令和6年度についても、100%を達成している。

引き続き学生募集が大きな課題ではあるが、幼児教育科定員50名に対し、令和5年度の入学者数は31名、令和6年度については34名、令和7年度については39名と、ここ3年間の入学者は増加傾向にある。定員充足率は令和6年度の62%から、令和7年度は78%に向上している。コロナ禍の数年間、志望者数は減少傾向にあったが、コロナ禍以降、保育現場での保育士や幼稚園教諭の不足、さらには全国的な短期大学の募集停止や4年制大学への移行など、本校の専門学校としての実践的な幼児教育の中身が、注目される時代が徐々に来ていると思われる。

令和6年度の取り組みとしては、社会人対象に「学び直し」入学を促進するための説明会を年間5回実施し、自治体、ハローワークへのチラシ配付やポスター掲示等の広報を行った。

また近隣の高校生を対象に、保育の魅力を伝える「保育体験」を附属幼稚園の協力を得て実施した。「保育体験」は、20名の熱心な保育者志望の高校生が参加。高校にも好評であった。

令和7年度についても、募集に繋がる様々な活動を精力的に取り組みながら、より多くの入学者の獲得に全力を挙げたい。

また、令和8年度からの介護福祉科の募集再開に向けて、準備を進めている。昨年の9月と10月に本校で介護福祉科募集再開についての説明会を行い、56施設に及ぶ介護関連施設の参加者を得た。その中から、現在14施設が、外国人留学生の経費支弁を担う「協力施設」の登録を行っている。留学生については、ミャンマーの送り出し機関であるUVSと契約し、現在、本校介護福祉科入学希望の留学生のうち16名の内定者を決定している。

[年間行事]

- 4月 2日 第57回入学式
- 4月 3日 1年生OR消費者教育
- 4月24日 特別授業 熊丸みつ子先生
- 6月 4日 第1回教育課程編成委員会
- 7月 3日 職業実践演習（3日間）
- 7月20日 学校関係者評価委員会
- 9月27日 特別授業『劇団ののはなワークショップ』1年
- 10月16日 特別授業 納富俊郎先生
- 10月27日 学園祭
- 11月 8日 防災訓練
- 11月 8日 学習発表会
- 12月 3日 第2回教育課程編成委員会
- 1月18日 第2回学校関係者評価委員会
- 3月 4日 第56回卒業証書授与式

2. 北九州リハビリテーション学院

[総括]

令和6年度の最大の課題は、入学者の減少である。学生募集の取り組みとして、「北リハの特徴」のアピールを主にガイダンスや定期的な高校訪問を継続して教員でも実施した。また、新たな試みとして卒業生が所属する施設を中心に学院のパンフレットを設置した。しかし、増加には至らず入学者数は昨年の34名より大幅に減少し21名（理学17名、作業4名）であった。OCについては昨年に引き続き小グループによる「FACE TO FACE」で密な学校説明を行った。OC参加者は39名であり、昨年より14名減少した。OCから受験への歩留まり率は53.8%（昨年62.9%）であり昨年より9.1%減少した。来校者を増加させることが重要である。

学生募集に関しては広報と密に連携を図り、部活動指導への参入、職業教育を中心に出前講義の提案をもとに高校のニーズに応じる為の高校訪問を積極的に実施する。またアクションプログラムで示すようにSNSの活用、地域・行政との連携を進めていく。また、退学者の原因分析をしてみると学習意欲の低下によるものが大半であった。学習習慣の確立と基礎的知識の習得のために、1年生の段階で成績不振者を対象に補習を行うなどの学力補充を検討している。

国家試験については、理学は25名全員合格であったが、作業では13名（既卒生2名含む）が受験して既卒生1名含め3名が不合格であった。理学100%（全国平均89.6%）、作業82%（全国平均85.8%）であった。1年時からの指導が必要であるが学習経験のない学生への指導、中でも意欲の低下への対応に苦勞した。両科協同で振り返りを実施して対応を検討する。特に不合格者の対応については、早急に対応を検討して実施する。

[年間行事]

4月 2日	第22回入学式
4月22日	救急救命講習会（1年生）
5月13日	抗体検査、人権セミナー（1年生）
5月27日	クラスマッチ
6月18日	防災（火災）訓練
6月25日	安心安全教育（1年生）
7月 6日	第1回教育課程編成委員会
7月20日	第1回学校関係者評価委員会
8月19日～21日	解剖学実習 九州歯科大学（2年生）
9月20日	就職活動セミナー（3年生）
9月24日	年金講話・マナー講座（1年生）
9月30日	就職説明会（対面）・北九州看護大学校とのスポーツ交流会（1年生）
10月 7日	就職説明会（リモート）
10月27日	青龍祭
11月 8日	防災（地震）訓練
11月25日	第1回専門職連携教育（北九州看護大学校）（2年生）
11月30日	第1回行橋市シーサイドハーフマラソン ランニングクリニック参加指導
12月 2日	第2回専門職連携教育（北九州看護大学校）（2年生）
12月 7日	第2回教育課程編成委員会
12月 9日	第3回専門職連携教育（北九州看護大学校）（2年生）
12月11日	北九州ゆめみらいワーク参加 ～12日
12月22日	第2回行橋市シーサイドハーフマラソン ランニングクリニック参加指導
1月18日	第2回学校関係者評価委員会
2月 1日	第1回入学前セミナー（新入学予定者）
2月24日	第60回国家試験
3月 5日	第20回卒業証書授与式
3月 8日	第2回入学前セミナー（新入学予定者）
3月22日	臨床実習指導者会議

3. 専門学校 北九州看護大学校

[総括]

令和6年度は計画した教育活動はほぼ実践でき、看護師を目指す中でも重要になる臨地実習についても covid-19 が蔓延する以前の臨地実習の状態で指導を受けることができた。本校の強みとする小倉医療センターとの連携においても、臨地実習だけに留まらず、非常勤講師として多くの医師や看護師の講義が開講できた。

また、これまで小倉医療センターへの就職説明の機会を年1回としていたが、その1回では十分に伝えきれない内容もあることで、令和6年度からは各学年に年間5～6回開催し、その中で卒業生や管理者、看護師の先輩として看護体験や看護の魅力を語っていただく職業理解の時間も設け、実施協力を得られたことは、学生にも小倉医療センターにも有益な機会が得られた。

更に、令和4年からの新カリキュラムが開始され、最初の該当学年が卒業を迎える年度であった。実際に3年間を通して看護師国家試験受験結果からは、もっと重点を置き内容を検討しないといけない看護学や臨地実習時間数が全体的に減少する中での教育内容について教職員が本校の魅力を伝えつつ、卒業生が更なる活躍ができるように再考をしていく内容が明確になった。

入学者については、昨年度に引き続きオープンキャンパス参加者の減少と受験者数の伸び悩みで、37名と定員確保は出来ていない。さらなる少子化と近隣での看護大学新設が見込まれる中で募集と次年度こそ定員数確保をするために募集要項についても検討を重ねた。

教育面では医療従事者の育成としての感染防止策を実施し、集団感染等を起こすことはなく、各自の予防や早期対処の指導もあり、長期欠席は防ぐことができた。

しかし近年精神的な問題を入学前より抱えている学生も増加しているため、休退学の学生数が増加していることに、スクールカウンセラーの配置、教員の相談受入等気持ちの支援等で対策をとってきたが、学生自身の諦めの速さと保護者の理解不足に伴う現象に教職員も従来の行事や教育活動との並行で困難さを痛感している。

教育の集大成である看護師国家試験は、新カリキュラム教育3年間の結果、現役100%合格となり、加えて既卒生の合格も達成でき安堵できた思いと今後に対する国家試験対策への早期計画立案にもつながった。

就職に関しては、小倉医療センターへ12名就職、その他にも国立病院機構への就職や大学病院への就職など進路保障を含め満足いく成果を達成できた。

[年間行事]

4月 3日	第14回入学式
5月 2日	新入生歓迎会、学友会総会
6月 4日	第1回教育課程編成委員会
7月20日	第1回学校関係者評価委員会
9月13日	2年生保護者会
9月26日	防火訓練（看護学科1，2年生）
9月30日	北九州リハビリテーション学院合同スポーツ交流会（看護学科1年生）
10月 6日	指定校・推薦・社会人Ⅰ入試
10月25日	宣誓式（看護学科1年生）
11月 2日	学校祭（一般参加・特別招待講演）
11月25日	卒業生懇談会
12月 1日	一般入試Ⅰ期
12月11日	第2回教育課程編成委員会
1月18日	第2回学校関係者評価委員会
1月26日	一般入試Ⅱ期・社会人Ⅱ期入試
2月16日	第114回看護師国家試験
3月 2日	一般入試Ⅲ期
3月 7日	12回卒業証書授与式（小倉医療センター体育館）

4. 苅田幼稚園

[総括]

令和6年度事業活動報告として、3年目となる2歳児クラスは、令和6年度の募集を24名定員としたが、令和6年9月には、30名となった。3歳到達以降無償化なので3歳になって入園する例が多くみられた。また令和6年度からは1歳児以下を対象とした「かんだのもり」も新設し10名定員が即座に集まった。令和7年度の入園児は卒園児より増加しており、行橋市や苅田町の3～5歳児の人口が5%程度減少していること考えると、本園の方針が評価をいただいていると考えている。今後、近隣の状況を踏まえると同時に、つばみ保育園やショコラとの連携を取っていきたい。自然環境を生かした保育では、戸外での昼食実施や山への散策、自然物を使った製作等、年長組の竹馬や鉄棒など本園の特性を生かした保育内容に取り入れることを意識している。集団での遊びの中でコミュニケーション能力を育成することを今後も継続していきたい。

また、このような取り組みをSNSで配信することで、本園の豊かな環境を生かした保育内容をより保護者の方達に伝えるとともに、入園希望者へのアピールにも繋がっている。

[年間行事]

4月13日	入園式
6月7日	避難訓練（火災）
6月8日	同窓会
7月5日	プール開き
7月28日・29日	一泊キャンプ（年長組）
9月1日・11日	入園説明会
10月10日	運動会見学日
10月14日	大運動会
10月17日	年少組遠足（メタセの杜）
10月24日	避難訓練（火災：苅田町消防本部指導有）
10月29日	年中組遠足（総合公園）
10月31日	年長組遠足（平尾台）
11月6日	芋ほり
11月9日	2歳児クラス三園合同運動会ごっこ
12月7日・8日	お遊戯会
1月21日	お店屋さんごっこ
2月21日	避難訓練（地震・津波）
3月1日	竹馬大会
3月8日	2歳児クラス三園合同観劇会
3月19日	卒園式

5. つばみ保育園

[総括]

令和6年度事業活動報告として、「定員60名の安定的な確保」は、2歳児クラスが定員に満たないことが影響している。20名を下回らないようにすることが必要と考えている。課題と考えていた0歳児クラスは、育児休業明けの入園希望者がおり、年度途中に定員を満たす状況となっている。「質の高い保育提供と保護者支援」は、園内研修、外部研修を通して、保育の質の向上に努めることにより、子ども一人ひとりの人権を尊重し、保護者理解（家庭環境）を深めた。その上で、職員間で情報を共有し、対応、支援に取り組んでいた。「自治体・

地域との連携強化」は、自治体との連携も継続的に良好であり、今後も関係構築に努めていく。有効な企業との契約ができており、安定的な入園希望者（企業枠）へとつながるものとなっている。

総合的に、日頃の保育活動を SNS で配信することや登園降園時の保護者対応等を通して、園児、保護者にとって安心な保育提供、保護者支援の構築ができています。運営面でも安定を見せており、評価に値すると考えています。一方で 2 歳児クラスの定員確保や職員確保、監査対応など引き続き課題もあり、今後も対応策等検討し努めていきたい。

[年間行事]

- 5 月 1 4 日・1 5 日 内科検診
- 5 月 1 5 日 届出保育施設等の立入調査（福岡県田川保健福祉事務所監査指導課）
- 6 月 1 日 開園 5 周年
- 7 月 2 4 日 歯科検診
- 8 月 2 4 日 夏祭り
- 1 0 月 1 7 日 立入調査（児童育成協会）
- 1 0 月 2 6 日 親子ふれあい参観日
- 1 0 月 2 9 日 防犯・不審者訓練（行橋警察署依頼）
- 1 1 月 1 2 日・1 3 日 内科健診
- 1 1 月 9 日 2 歳児クラス三園合同運動会ごっこ
- 1 月 4 日 令和 7 年度入園申込受付開始
- 2 月 1 5 日 親子ふれあい参観日
- 2 月 2 6 日 防犯・不審者訓練（園内職員のみ）
- 3 月 3 1 日 2 歳児お別れ会
- ※ 毎月・・・健康診断 避難訓練 苅田幼稚園への園外保育（1 歳児・2 歳児・・・5 月から実施）

6. 法人事業部

[総括]

令和 6 年度は特定施設部門において、「グランドホームゆくはし」については、前年度と比較し若干稼働率が低下したが（年間平均稼働率 9 2. 7 %→9 0. 5 %）、黒字で期末を迎えることができた。「かんだんて」については、前年度と比較して稼働率を改善することができ（年間平均稼働率 8 8. 8 %→9 3. 8 %）、同じく黒字で期末を迎えることができた。

人材確保においては、「グランドホームゆくはし」は年間離職率 1 3. 0 %（前年 1 0. 6 %）と目標（1 0 %以内）は達成できなかったが介護施設の全国平均離職率と同等の数字に落ち着いた。「かんだんて」については、前年度は年間離職率 2 4. 2 %（前々年度 2 5. 6 %）と離職率が高かったが、令和 6 年度は 3. 0 %と大幅に改善できた。両施設ともに中間管理職や一般職員の育成に関しては引き続き課題を残している。

令和 6 年度から新事業としてスタートした、有料職業紹介事業・登録支援事業「Eternal Bridge」に関しては、協定先であるカンボジアの日本語学校、ミャンマーの送出し機関（兼日本語学校兼スキルセンター）と連携して自法人への人材受入れのみでなく、少人数ではあるが、他法人に対しても紹介することができた。収支としては、若干の赤字計上の結果となった。

法人事業部全体の結果としては、退職金引当等の決算処理実施後はプラス収支が予測される。

7. 小規模保育園ショコラ

[総括]

令和6年度は令和5年度と同じく、期首17名でスタートすることができた（定員19名、定員の116%：22名まで受入可能）。年間平均稼働率も108.4%（前年106.1%）の結果で前年度の平均を上回ることとなり、予算通りの黒字を挙げるすることができた。職員の確保については離職もなく安定した年度となった。

[年間行事]

- | | | |
|-----|-----|------------------------------|
| 4月 | 1日 | 令和6年度開園 |
| 5月 | 9日 | 内科健診 |
| 6月 | 5日 | 歯科検診 |
| 7月 | 18日 | プール開き |
| 9月 | 18日 | 防犯・不審者訓練 |
| 11月 | 6日 | どんぐり拾い（行橋総合公園） |
| 11月 | 5日 | 七五三参り（正八幡宮） |
| 11月 | 9日 | 運動会ごっこ
2歳児芋掘り（苅田幼稚園） |
| 10月 | 24日 | 内科健診 |
| 11月 | 30日 | 保育参観・お遊戯会
お遊戯会練習見学（苅田幼稚園） |
| 12月 | 28日 | お餅つき大会見学（グランドホームゆくはし） |
| 1月 | 14日 | 初詣（正八幡宮） |
| 1月 | 31日 | 節分・おたふくくぐり（正八幡宮） |
| 3月 | 8日 | 観劇会 |
| 3月 | 19日 | 2歳児お別れ遠足 |
- ※ 毎月・・・身体測定・避難訓練・誕生日会
※ 苅田幼稚園への園外保育（2歳児・・・5月以降参加）

8. 法人事務局

[総括]

令和6年度学校法人部門の収支は、収入が学納金収入の減少が影響して前年を下回り、支出は経費コスト増の影響もあったが、経費削減努力の効果で前年より減少した。結果、学校法人部門の経常収支差額は残念ながらマイナスとなったが、法人事業部の収支が改善し、補助金収入が増加した影響で、法人全体の現「5ヶ年計画」初年度の目標を上回る結果となった。令和7年度以降も引き続き楽観できない状況は続くが、更なる収支改善に向け、法人事務局として、全体の事業活動をバックアップしていきたい。法人事務局の業務については、改正私学法に対応した新寄附行為の作成（令和6年12月に提出）や、福岡労働局のヒアリング対応（令和6年8月）、職員給与の定額減税処理の対応（令和6年4月）、通信設備（電話）のフルリニューアル（令和6年12月）、北九州リハビリテーション学院空調設備の工事契約（令和7年3月）など、例年になく労力を要する業務も多く慌ただしい1年であった。令和7年度は、新寄附行為に準じた理事会・評議員の開催も始まる。万全の備えをして準備にあたりたい。

* 令和6年度に実行した大型設備投資は以下の通り（令和7年度竣工工事も含む）

北九州リハビリテーション学院ウッドデッキ改修工事	1,866,700 円
--------------------------	-------------

苅田幼稚園園庭遊具設置工事（旧遊具撤去）	2,057,000 円（補助金対象事業）
北九州保育福祉専門学校公用車（普通車）購入	1,236,620 円
戸早学園電話システム全面改修工事（クラウド PBX・IP 電話）	1,566,450 円
北九州リハビリテーション学院空調設備工事（令和 7 年 10 月竣工予定）	62,480,000 円

9. 広報部門 ※専門学校 3 校

〔総括〕

オープンキャンパスの参加者数は、北九州保育福祉専門学校が増加、北九州リハビリテーション学院と専門学校北九州看護大学校は減少という結果であった。受験者数・入学者数は、その結果がそのまま影響して、北九州保育福祉専門学校のみ増加で、北九州リハビリテーション学院と専門学校北九州看護大学校では減少となった。全体としては、医療系分野の進学希望者が減少傾向で、遠隔地からの入学者数が激減、近隣地域の学生数減少も相まって厳しい学生募集活動であった。本年度の募集活動の強化ポイントとしては、高校訪問回数の増や進路ガイダンスへの積極的な参加に加え、出前オープンキャンパスや Web 広告戦略などを強化して、オープンキャンパスへの参加を増やすよう取り組んだ。

10. 職業訓練委託事業による入学

福岡県立小倉高等技術専門校より職業訓練の委託を受け令和 6 年度入学生を受け入れた。

幼児教育科 5 名

II 就職状況

卒業生の就職状況は好調を維持している。求人数、就職内定率は以下のとおりである。

	求人数	就職内定率
幼児教育科	3, 2 1 7 件	1 0 0 %
理学療法学科	2, 5 7 3 件	1 0 0 %
作業療法学科	2, 0 5 1 件	1 0 0 %
看護学科	4, 6 8 5 件	1 0 0 %